

編集後記

超音波の研究や産業利用の歴史は長く、近年においてもその勢いを失っていないものの、本誌における関連特集は第49巻第1号(2010年発行)の「先進超音波計測」を最後に組まれていません。今号の特集「強力空中超音波の活用と広がり」は、空中を伝搬する大振幅の超音波に焦点を当て、その近年の技術的進展に迫っています。このような限定された領域であるにもかかわらず、音圧の飽和や音響放射圧といった興味深い現象、さらにそれらを利用した豊かな応用が広がっていることが、初見の読者にもご理解いただけたのではないのでしょうか。超音波の産業利用としては非破壊検査や医療検査といったセンシング用途が多いのですが、本特集ではそれらに加えマニピュレーションや触覚再現といった力学的作用の利用に関してもご執筆いただきました。さらに、これらの用途の広がりに伴い空中超音波が身近な技術となってきたため、安全基準に対する最新の議論についてもご寄稿いただきました。一人でも多くの

読者に興味をもっていただき、関連技術のさらなる発展につながれば幸いです。

私自身も触覚関連研究において超音波を活用しており、当初は自分の興味の赴くまま本特集を企画しましたが、ご協力いただいた著者の皆様のご尽力に支えられ、多くの方々にとって意義ある特集になっていると思料します。ご多忙中にもかかわらず快く執筆を引き受けてくださった著者の皆様に、厚くお礼申し上げます。また、本特集の企画段階において有益なご助言や、内容に関する激励をいただいた会誌出版委員会、記事の校閲をいただいた皆様、最終的に取りまとめいただいた事務局の皆様にも感謝申し上げます。

最後に、本年1月1日に発生した能登半島地震に関連する被害を受けられた方々に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早く平穏な生活を取り戻されることをお祈りいたします。

(藤原 正浩 記)

◇第63巻第5号(2024年5月号) 予定目次◇

一般記事

リレー記事 「FACE the future」《第64回》鉄鋼熱間圧延プロセスの材質モデル開発 木原美鈴 (TMEIC)

特集 柔らかいロボットが掴む人の心と未来

総論 柔らかいロボットが掴む人の心と未来 下田真吾 (名古屋大)
解説 柔らかい支援がもたらす身体的・精神的・社会的ウェルビーイングの実現 平田泰久 (東北大)
解説 生体信号解析から捉える気づきと違和感 川上英良 (理研)

解説 柔らかい支援ロボットによるユーザの運動主体感・自己効力感の向上 野田智之 (ATR), 温文 (立教大), 稲邑哲也 (玉川大)
解説 生物の行動原理から考える「柔らかさ」の役割 平田 仁 (名古屋大)
解説 安心・快適性を創出する Robotic Nimbus 渡辺哲陽 (金沢大), 多田隼建二郎 (東北大)
解説 気づきの心理学 上田彩子 (日本女子大)
解説 挑戦的な行動変容を促す安心支援 加藤健治 (NCGG), 平田泰久 (東北大)
解説 小児リハビリテーションにおける気づき 安 琪 (東京大), 松田雅弘 (順天堂大), 菊地 謙 (東京大)

(第63巻第4号)

特集号編集WG: 相沢宏明 (東洋大学), 伊藤直史 (群馬大学), 飴谷充隆 (産業技術総合研究所), 川喜田佑介 (神奈川工科大学), 西野敦洋 (産業技術総合研究所), 藤原正浩 (南山大学: 幹事)

2024年度 会誌出版委員会 (五十音順)

委員長: 山下 智輝

副委員長: 小木曾公尚

飴谷 充隆	伊藤 博通	伊藤 優司	井上 淳	伊吹 竜也	大谷 雅之	大塚 章正
岡本 有司	尾山 匡浩	川喜田佑介	川瀬 利弘	田中 基康	豊田 充	西川 鋭
西野 敦洋	長谷川圭介	堀内 哲也	堀川徳二郎	宮廻 裕樹	保田 俊行	山田 広明
吉野 公三						